

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ誘導や口腔ケアの声かけが、大きな声になっていたり“よいしょ”が口癖になっている。 ・服薬の飲み込み確認で口腔内を見せていただく時、ご本人や他のご入居者への配慮が欠けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・尊厳重視、羞恥心への配慮としてさり気ない声かけや、聞き取りにくい方に非言語コミュニケーションで伝えることができています。 ・口元を少し隠しご本人、周囲への配慮ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスや研修会で、人権擁護や高齢者虐待、接遇マナーの勉強会を行い意識付けを行う。 ・日々の申し送りやリーダーミーティングで、言葉かけの振り返りと見直しを行う。 	6ヶ月
2	35	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所を地域の避難場所として周知できていない。 ・地域の方々、消防団を交えた訓練ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所として開放し、地域の方々に必要とされ、信頼いただける事業所となる。 ・地域全体で安全に避難できる協力体制が構築できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の回覧板や運営推進会議等で、避難場所として開放することを周知する。 ・地域全体の安全の為、消防団や消防署に助言いただき共に訓練を行う。 	12ヶ月
3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事故報告の届出を行い再発防止に繋がっているが、ヒヤリハット報告書が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険に対する感受性を高める為、たくさんのヒヤリハット報告書が提出されている。 ・事故防止に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告書を簡略化する(日付・内容のみ)メモや付箋に書きホワイトボードに貼る。 ・毎月、ヒヤリハット報告書を集約、検証しカンファレンスで情報共有を行う。 	3ヶ月
4	49	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族を交えた行事や、交流会が開催できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員とご家族との信頼関係が深まり、安心していただける。 ・ご家族同士が交流し、話し合いの場の提供ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に来ていただけるようお茶会や、健康体操等を企画しお手紙で参加を呼びかける。 ・運営推進会議で他の事業所や、地域の方にご意見をいただく。 	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。